



109

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ①

名前

組 番

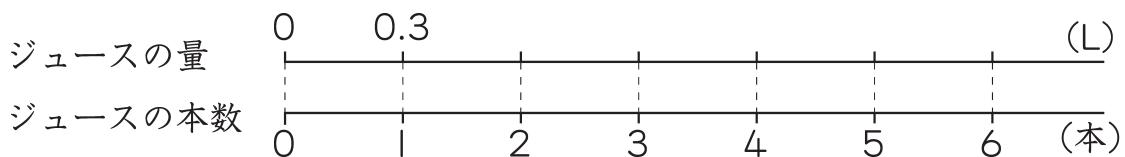
ねらい

純小数×整数の乗法計算の仕方を考える。

(考) 技 知

- ① 0.3L入りのジュースを6本買いました。

ジュースは、全部で何Lあるでしょうか。



- ① どんな式を書けばよいでしょうか。 <式>

- ② あやのさんとけんじさんが、計算のしかたを説明しています。

□にあてはまる数を書きましょう。

<あやのさん> 0.1をもとに考える

$$0.3 \text{ は } 0.1 \text{ の } \boxed{\quad} \text{ こぶんだから, } 0.3 \times 6 = 0.1 \times \boxed{\quad} \times \boxed{\quad}$$

$$= 0.1 \times \boxed{\quad}$$

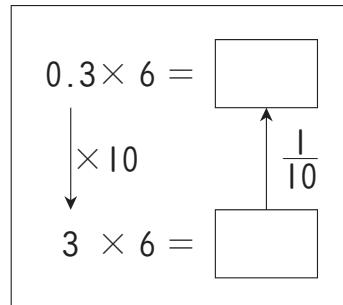
$$0.1 \text{ の } \boxed{\quad} \text{ こぶんだから, 答えは } \boxed{\quad}$$

<けんじさん> かけられる数を10倍して考える

$$0.3 \times 6 \text{ の } 0.3 \text{ を } \boxed{\quad} \text{ 倍すると } \boxed{\quad}$$

3 × 6 になるので、その答えを $\frac{\boxed{\quad}}{\boxed{\quad}}$ すると

答えは $\boxed{\quad}$ になります。



- ② 次の計算を、かけられる数を10倍にして考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{l} \textcircled{1} \quad 0.4 \times 6 = \boxed{\quad} \\ \downarrow \times 10 \\ \boxed{\quad} \times 6 = \boxed{\quad} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \textcircled{2} \quad 0.7 \times 8 = \boxed{\quad} \\ \downarrow \times 10 \\ \boxed{\quad} \times 8 = \boxed{\quad} \end{array}$$

ねらい

小数×整数の乗法計算の仕方を考え、筆算ができる。

考技知

① 2.7×8 の計算のしかたを考えましょう。

〈0.1をもとにして〉

2 7 × 8

0.1が(×)こ分

$2.7 \times 8 =$

〈かけられる数を10倍にして〉

2 7 x 8 -

10倍

$$\boxed{} \times 8 =$$

○ 2. 7×8 の積は、 27×8 の積を  にしたものになる。

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 & 2 . 7 \\
 \times & 8 \\
 \hline
 2 & 1 . 6
 \end{array}$$

答えを $\frac{1}{10}$ にする

2 次の計算をしましょう。

① 4.2×3

② 2.9×3

$$\textcircled{3} \quad 8.4 \times 4$$

$$\textcircled{4} \quad 0.9 \times 2$$

$$\textcircled{5} \quad 0.5 \times 9$$

⑥ 13.6×2

⑦ 17.8×6

$$\textcircled{8} \quad 48.7 \times 6$$



111

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ③

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

被乗数が1/100の位までの小数の場合の乗法計算の仕方を考える。

(考) (技) 知

- ① 1mの重さが1.26kgの鉄のぼうがあります。
この鉄のぼう8mの重さは何kgでどうか。

- ① どんな式になりますか。 <式>
- ② たかしさんとゆらんさんが計算のしかたを考えました。
□にあてはまる数を書きましょう。

<たかしさん>

0.01をもとに考えてみる

$$1.26 \times 8$$



$$0.01 \times (\boxed{} \times \boxed{})$$

<ゆらんさん>

かけられる数を100倍して考える

$$1.26 \times 8 = \boxed{}$$

100倍

$$126 \times 8 = \boxed{}$$

- ③ 筆算のしかたを考えましょう。

1.26×8 を 126×8 と考えて
計算をしました。積の小数点は、どこに
うてばよいでしょう。
右の筆算の積に小数点をうちましょう。

$$\begin{array}{r}
 1.26 \\
 \times \quad 8 \\
 \hline
 1008
 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

① 1.38×6

② 4.79×8

③ 0.87×7

④ 3.04×64

⑤ 7.41×27

⑥ 0.86×58



112

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ④

ねらい

積の末位が0になる場合の乗法計算と、被乗数が1/1000の位まで
の小数の乗法計算ができる。

- ① 1.24×5 の計算のしかたを説明します。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 右の筆算の積の6.20と は
同じ大きさなので、一の位の0をけす。

$$\begin{array}{r} 1.24 \\ \times 5 \\ \hline 6.20 \end{array}$$

- ② 0.25×3 の計算のしかたを説明します。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 右の筆算は積の75と を
つけたして、答えを0.75とします。

$$\begin{array}{r} 0.25 \\ \times 3 \\ \hline 0.75 \end{array}$$

- ③ 0.326×24 の計算のしかたを説明します。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 右の筆算は、小数点がないものとして、
 326×24 の計算をします。
そして、積の7824を で
わって小数点をうちます。

$$\begin{array}{r} 0.326 \\ \times 24 \\ \hline 1304 \\ 652 \\ \hline 7.824 \end{array}$$

- ④ 次の計算をしましょう。

① 0.48×5

② 3.75×4

③ 0.14×3

④ 0.25×2

⑤ 0.034×5

⑥ 1.875×24



113

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑤

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

小数÷整数の計算の仕方を考える。

(考) 技 知

① 次の①、②、③の計算のしかたを考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad 1.8 \div 6$$

<0.1をもとにして>

$$1.8 \cdots \cdots 0.1 \text{が } \boxed{} \text{ こ}$$

$$1.8 \div 6 \cdots 0.1 \text{が } \boxed{} \div \boxed{} \text{ こ}$$

$$1.8 \div 6 = \boxed{}$$

<わられる数を10倍して>

$$1.8 \div 6 = \boxed{}$$

$$\downarrow 10\text{倍} \quad \uparrow \frac{1}{10}$$

$$\boxed{} \div 6 = \boxed{}$$

$$\textcircled{2} \quad 6.4 \div 2$$

<0.1をもとにして>

$$6.4 \cdots \cdots 0.1 \text{が } \boxed{} \text{ こ}$$

$$6.4 \div 2 \cdots 0.1 \text{が } \boxed{} \div \boxed{} \text{ こ}$$

$$6.4 \div 2 = \boxed{}$$

<わられる数を10倍して>

$$6.4 \div 2 = \boxed{}$$

$$\downarrow 10\text{倍} \quad \uparrow \frac{1}{10}$$

$$\boxed{} \div 2 = \boxed{}$$

$$\textcircled{3} \quad 4.8 \div 6$$

<0.1をもとにして>

$$4.8 \text{は } \boxed{} \text{ が } \boxed{} \text{ こ}$$

$$4.8 \div 6 \text{は } \boxed{} \text{ が } \boxed{} \div \boxed{} \text{ こ}$$

$$4.8 \div 6 = \boxed{}$$

<わられる数を10倍して>

$$4.8 \div 6 = \boxed{}$$

$$\downarrow \text{倍} \quad \uparrow \begin{array}{|c|c|}\hline & \\ \hline & \\ \hline \end{array}$$

$$\boxed{} \div 6 = \boxed{}$$



114

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑥

ねらい

小数÷整数の計算の仕方を考え、筆算ができる。

考(技) 知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \\ 5) \overline{8.5} \\ \boxed{} \\ \hline \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ 7) \overline{94.5} \\ \boxed{} \\ \hline \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \\ 4) \overline{12.8} \\ \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline \hline \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 8.4 \div 3$$

$$\textcircled{2} \quad 9.2 \div 4$$

$$\textcircled{3} \quad 9.6 \div 6$$

$$\textcircled{4} \quad 42.5 \div 5$$

$$\textcircled{5} \quad 11.9 \div 7$$

$$\textcircled{6} \quad 12.6 \div 3$$



115

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑦

ねらい

商が1より小さくなる場合や除数が2位数の場合の除法計算ができる。

勉強した日

月 日

名前

組 番

考(技)知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \\ 9) \overline{5.4} \\ \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \\ 3) \overline{0.9} \\ \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \\ 21) \overline{18.9} \\ \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 6.4 \div 8$$

$$\textcircled{2} \quad 4.2 \div 7$$

$$\textcircled{3} \quad 68.8 \div 16$$

$$\textcircled{4} \quad 81.6 \div 24$$

$$\textcircled{5} \quad 7.8 \div 13$$

$$\textcircled{6} \quad 24.3 \div 27$$

$$\textcircled{7} \quad 121.6 \div 38$$

$$\textcircled{8} \quad 179.8 \div 29$$



116

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑧名
前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

被除数が $1/100$ の位、 $1/1000$ の位までの除法計算ができる。

(考) (技) 知

- ① 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

- ② 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 0.63 \div 9 \qquad \textcircled{2} \quad 60.25 \div 5$$

$$\textcircled{3} \quad 71.91 \div 17 \qquad \textcircled{4} \quad 57.04 \div 23$$

3) 7 . 3 2		
0		

- ③ 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

- ④ 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 7.684 \div 4 \qquad \textcircled{2} \quad 0.114 \div 6$$

$$\textcircled{3} \quad 3.379 \div 31 \qquad \textcircled{4} \quad 0.072 \div 12$$

48) 3 . 2 6 4			
0			



117

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑨

ねらい わり進む除法計算の仕方を考える。

勉強した日 月 日

名前

組 番

(考) (技) 知

① 次の計算の□にあてはまる数を書きましょう。

また、商には小数点もうちましょう。

① 4.2を4.20とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ 5) \quad 4 \cdot 2 \\ \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

② 6.3を6.30とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ 6) \quad 6 \cdot 3 \\ \boxed{} \\ \hline \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

③ 6を6.00とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ 25) \quad 6 \\ \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline \boxed{} \quad \boxed{} \quad \boxed{} \\ \hline 0 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① $4.2 \div 4$

② $64.2 \div 40$

③ $49.78 \div 76$

④ $0.18 \div 50$

⑤ $3 \div 24$

⑥ $1 \div 16$



120

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑫

名前

組 番

ねらい

何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。

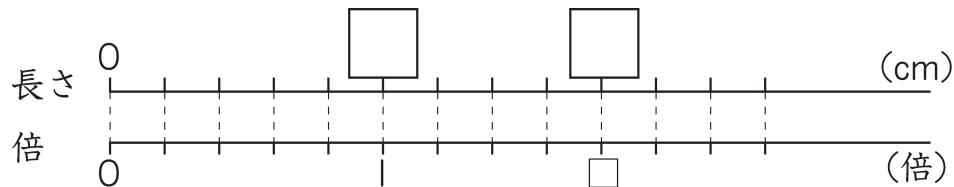
考 技 (知)

- ① 赤色のテープと白色のテープがあります。

赤色のテープの長さは90cm、白色のテープの長さは50cmです。

赤色のテープの長さは、白色のテープの長さの何倍でしょうか。

- ① □にあてはまる数を書いて、場面を数直線に表しましょう。



- ② 90cmと50cmのどちらを1とみればよいでしょうか。 答え () cm

- ③ 式に表して、答えを求める。^{もと}

〈式〉

答え _____

- ④ 白いテープの長さを1とみると、赤いテープの長さは何倍にあたるでしょうか。

() にあたる。

- ② 白のテープが6m、赤のテープが9m、青のテープが12mあります。

- ① 青のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え _____

- ② 赤のテープの長さは、青のテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え _____

- ③ 赤のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

〈式〉

答え _____

121

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑯名
前

組 番

ねらい

小数×整数、小数÷整数についての学習を活用して問題を
解決することができる。

(考) 技 知

- ① 学校の中からかけ算やわり算が使える場面を見つけて、問題をつくります。
 次のけんじさんと、ゆみさんが見つけた場面を使って問題をつくりましょう。
 また、その問題の解答（式と答え）も書きましょう。

(けんじ)

学校の階だんの1だん分の高さは15.8cmで、1階から2階までと、
 2階から3階までのだん数はそれぞれ27だんです。

◆かけ算の問題をつくりましょう。

(ゆみ)

学校の教室のゆかのタイルは、1辺が30.3cmの正方形です。
 教室の横には、このタイルが1列に32まいならんでいます。また、
 教室の天じょうには、正方形のパネルが横に22まいならんでいます。

◆わり算の問題をつくりましょう。

122

16. 立体 ①

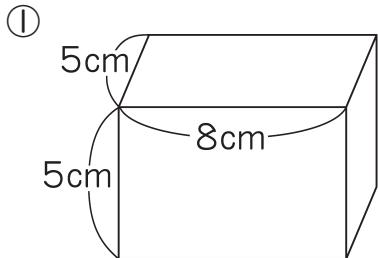
名前

組 番

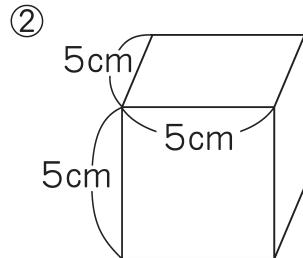
ねらい 直方体、立方体の意味を理解する。

考技(知)

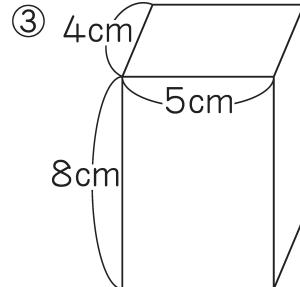
- ① 次の()の中に立体の名前を書きましょう。



()



()



()

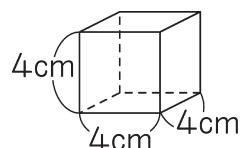
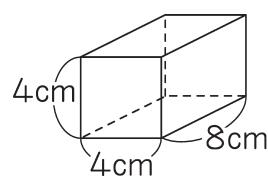
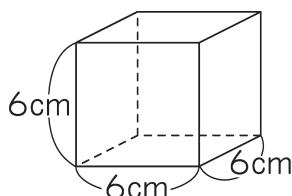
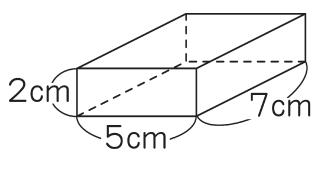
- ② 次の立体を見て、下の①～④にあてはまる立体の記号を書きましょう。

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ



- ① 正方形と長方形でかこまれている立体 ()

- ② 正方形だけにかこまれている立体 ()

- ③ 長方形だけにかこまれている立体 ()

- ④ 立方体はどれでしょうか。 ()



123

16. 立体 ②

名
前

組 番

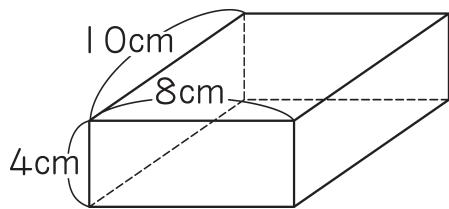
ねらい

直方体、立方体の構成要素や平面の意味を理解する。

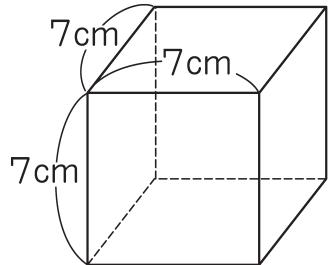
考 技 (知)

- ① 下のような直方体や立方体について、下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

直方体



立方体



	直方体	立方体
面		
頂点		
辺		

- ① 上の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

4cmの辺()

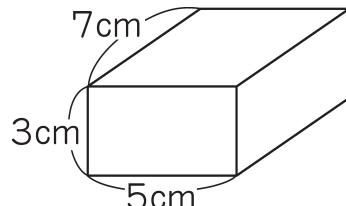
8cmの辺()

10cmの辺()

- ② 上の立方体には、どんな面の形がいくつあるでしょうか。

1辺7cmの()の面が、()つある。

- ② 右の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。



124

16. 立体 ③

名前

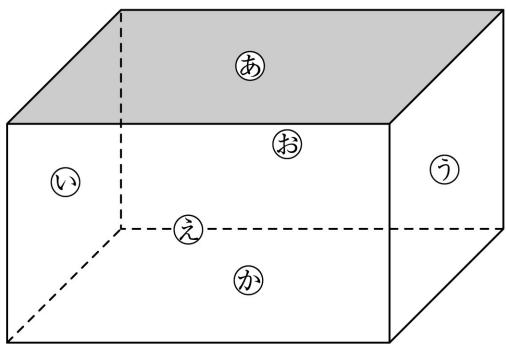
組 番

ねらい

直方体、立方体の面や辺の垂直、平行関係を理解する。

考 技 (知)

- ① 下の直方体を見て、答えましょう。

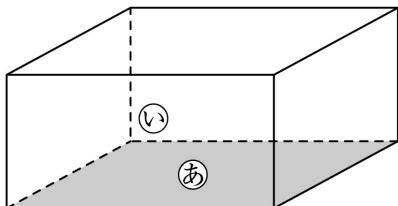


① 上の④の面と平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

② 横の④の面と平行な面はどれでしょうか。

面 ()

- ② 下の直方体を見て、答えましょう。



① 下の④の面に垂直な面は、いくつあるでしょうか。

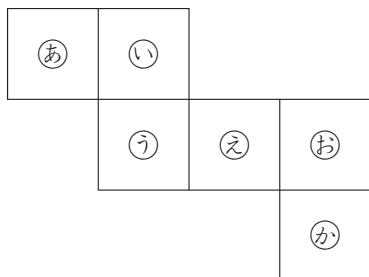
()

② ④の面に平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

③ 直方体の面のように、平らな面を何というでしょうか。

()

- ③ 下の展開図を組み立ててできる立方体で、面④と平行になる面はどれでしょうか。



面 ()



125

16. 立体 ④

名前

組 番

ねらい

直方体、立方体の面と面、面と辺、辺と辺の垂直や平行について
調べる。

(考) 技 知

① 右の直方体を見て、答えましょう。

① ④の面と垂直な辺を書きましょう。

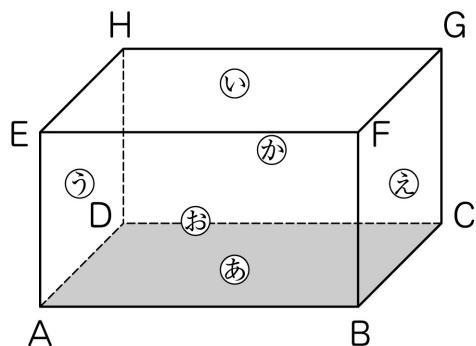
(

)

② 辺EAと垂直な面を書きましょう。

(

)



② 右の直方体を見て、答えましょう。

① 辺ABと平行な辺を書きましょう。

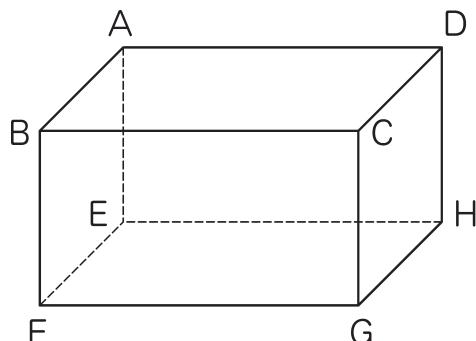
(

)

② 辺GHと垂直な辺を書きましょう。

(

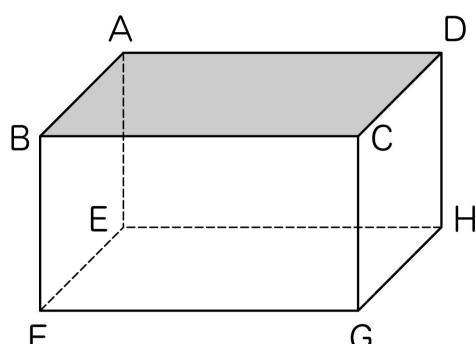
)



③ 右の直方体を見て、答えましょう。

面ABCDと垂直な面は、いくつあるでしょうか。

()



126

16. 立体 ⑤

名
前

組 番

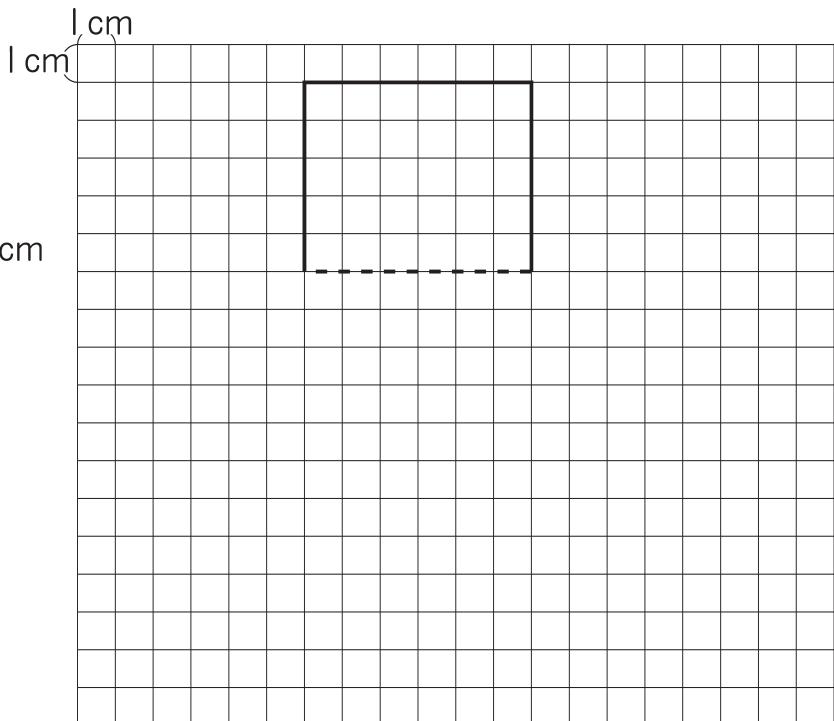
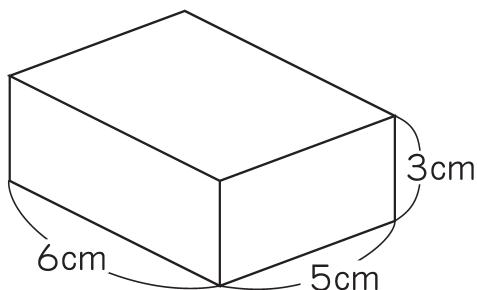
ねらい

展開図の意味を理解し、展開図をかくことができる。

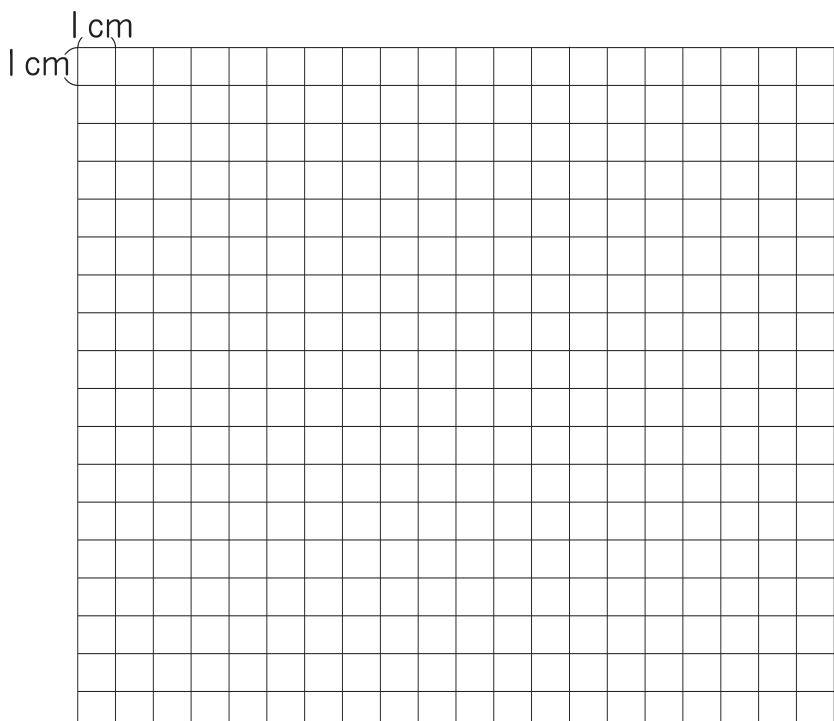
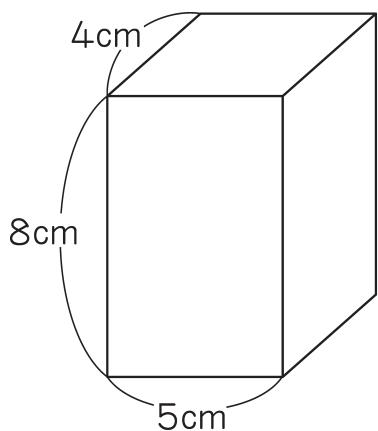
考 技(知)

- ① 次の直方体の展開図をつづけてかきましょう。(1目もりが1cmとします)

①



②



127

16. 立体 ⑥

名前

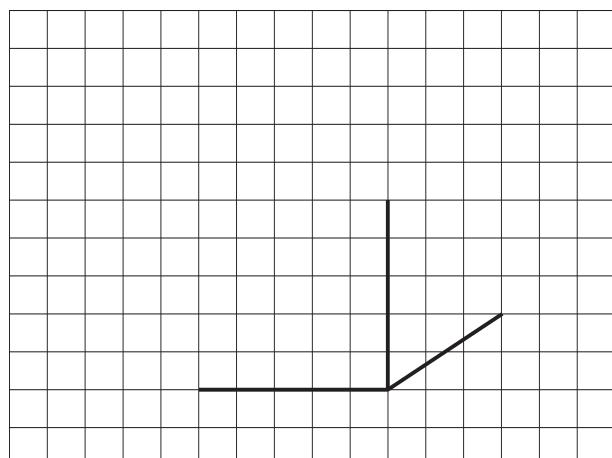
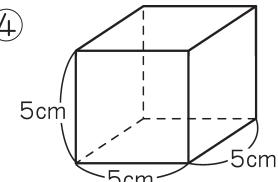
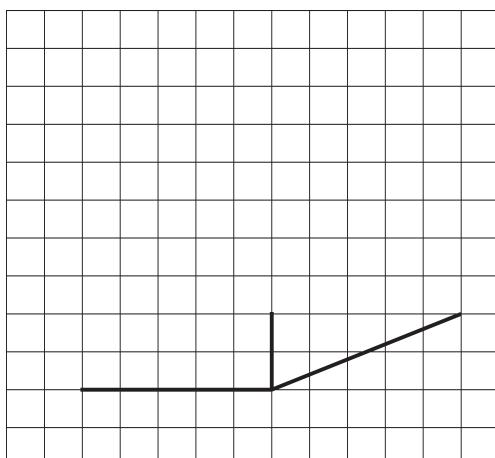
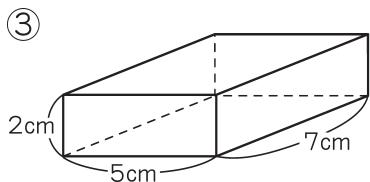
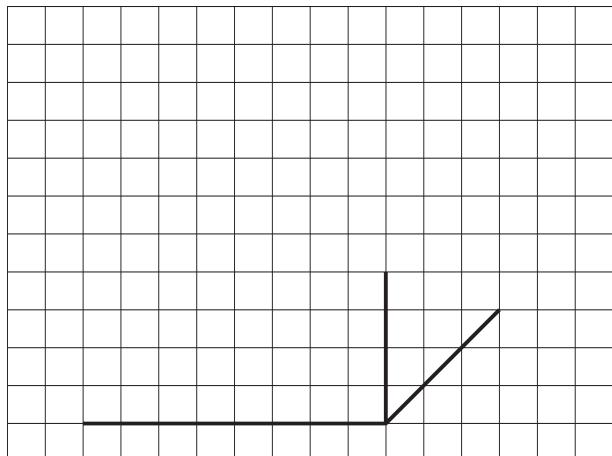
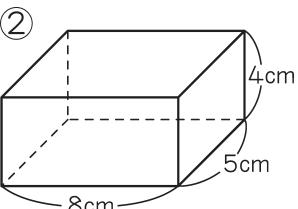
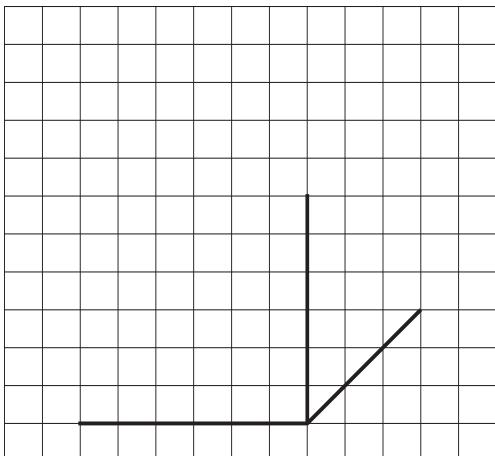
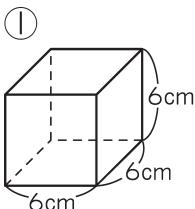
組 番

ねらい

見取り図の意味を理解し、直方体や立方体の見取り図をかくこと
ができる。

考 技(知)

- ① 次の立方体や直方体の見取り図をかきましょう。(1目もりが1cmとします)



128

16. 立体 ⑦

名
前

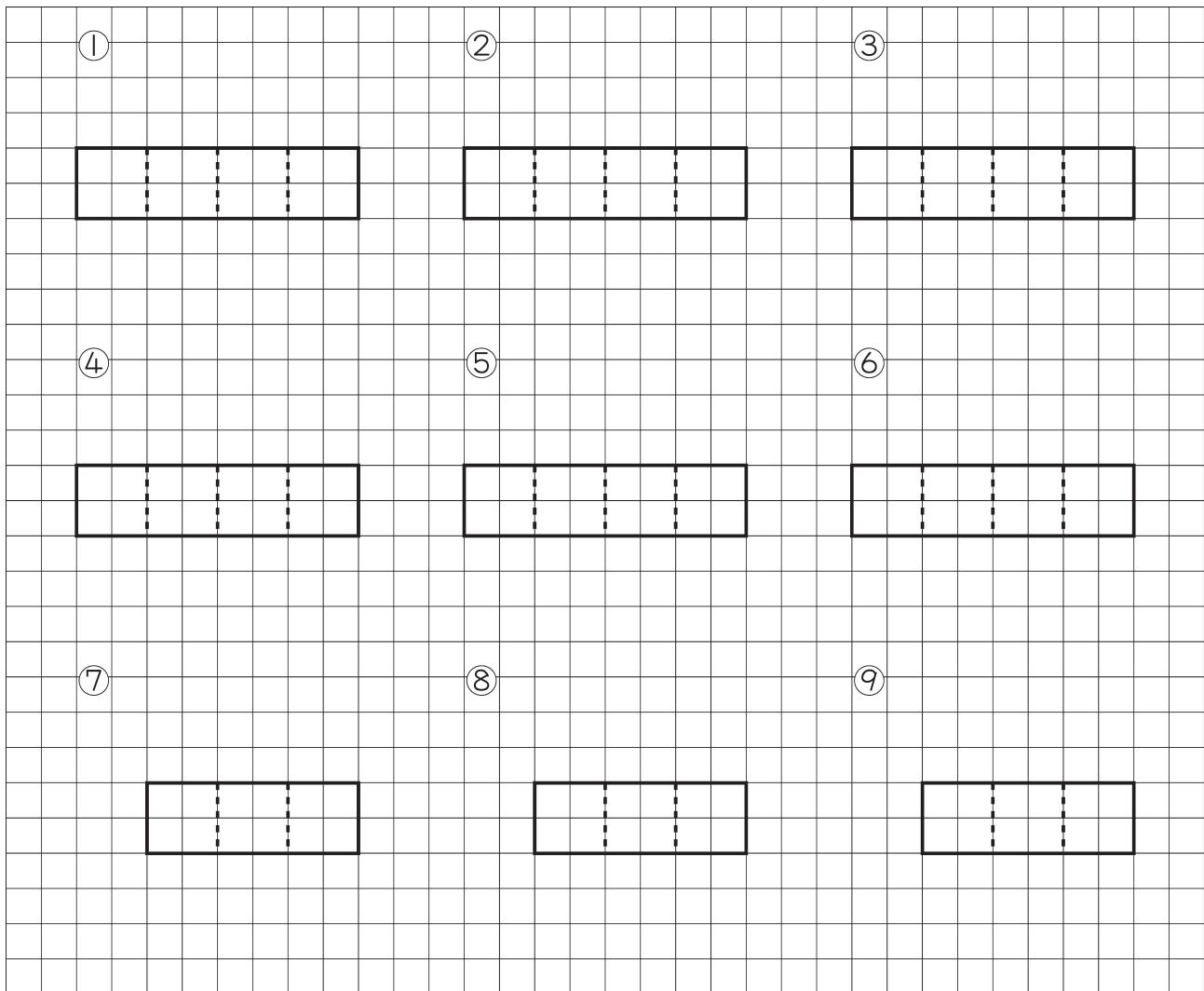
組 番

ねらい

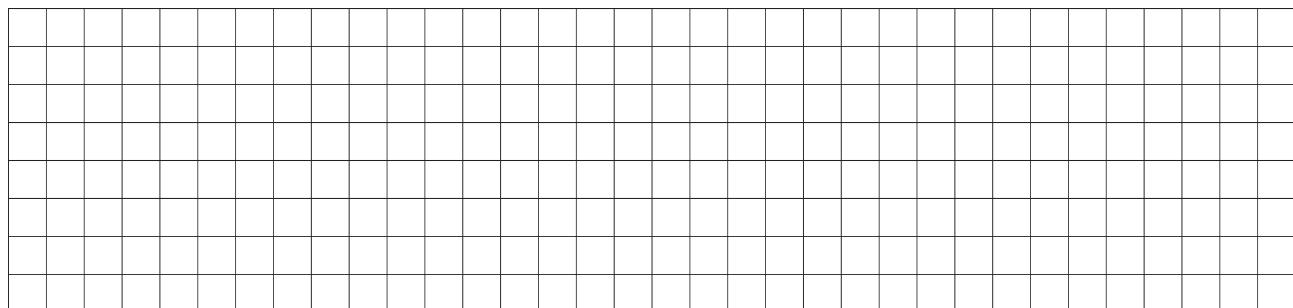
立方体のいろいろな展開図を考え、面と面のつながりや立体図形と平面図形について理解を深める。

(考) 技 (知)

- ① 立方体の展開図のつづきをかいて、いろいろな展開図を完成させましょう。



- ② 上の展開図以外にあと2つあります。わかったたら、かきましょう。



129

16. 立体 ⑧

名前

組番

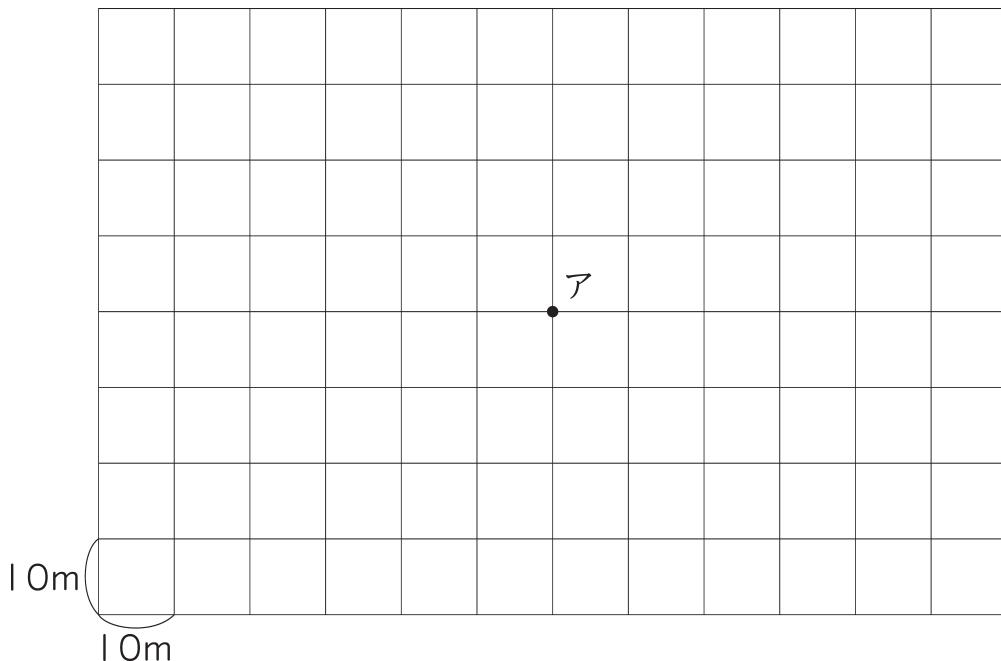
ねらい

平面の上にある点の位置、空間の中にある点の位置の表し方を考え、表すことができる。

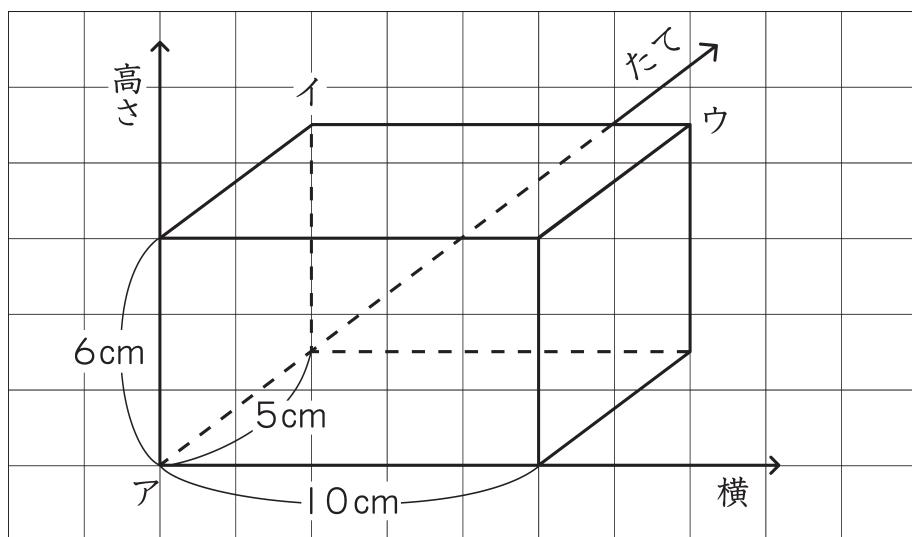
(考) (技) 知

- 1 下の図に、点アの位置をもとにして、点イ、点ウを書き入れましょう。

点イ (東 30m、北 20m) 点ウ (西 40m、南 40m)



2

※ 1目もりは
1cmです。

上のような直方体で、頂点アをもとにすると、頂点イ、ウの位置はどのように表すことができるでしょうか。

点イ (横 たて 高さ)点ウ (横 たて 高さ)



130

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ①

名前

組 番

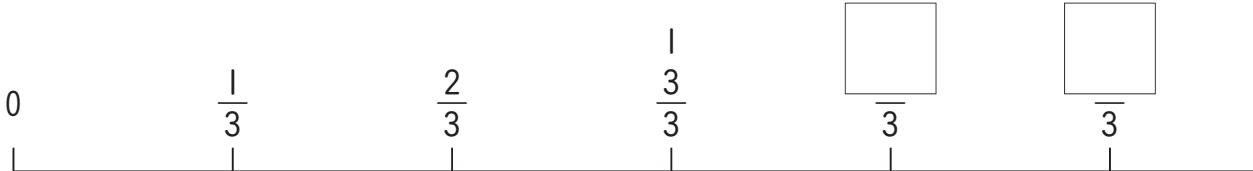
ねらい

1より大きい分数の表し方や、「帯分数」「仮分数」「真分数」の用語を理解する。

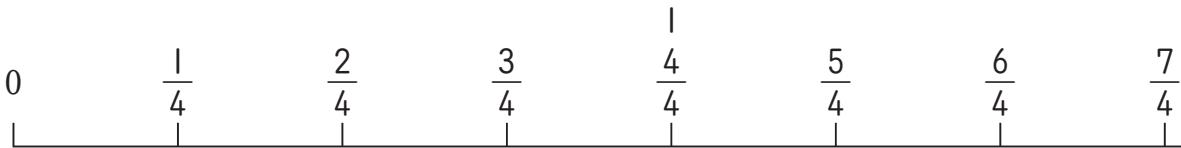
考技(知)

- ① $\frac{1}{3}$ の4こ分、5こ分の大きさを分数で表しましょう。

- ① 下の□に、それぞれの分子を書きましょう。



- ② 下の数直線を見て、答えましょう。



- ① $\frac{5}{4}$ は $\frac{1}{4}$ のいくつ分の大きさの分数でしょうか。

- ② $\frac{5}{4}$ は1とどんな大きさの分数を合わせたのでしょうか。

- ③ 下の()にあてはまる言葉を書きましょう。

- ① $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{2}{3}$ 、 $\frac{3}{5}$ のように、分子が分母より小さい分数を()といいます。

- ② $\frac{3}{3}$ 、 $\frac{5}{2}$ 、 $\frac{6}{4}$ のように、分子が分母と等しいか、分子が分母より大きい分数を()といいます。

- ③ $1\frac{3}{4}$ 、 $2\frac{2}{5}$ のように、整数と真分数の和で表されている分数を()といいます。

- ④ 次の分数を真分数、仮分数、帯分数に分けて、記号で答えましょう。

- Ⓐ $3\frac{12}{14}$ Ⓑ $\frac{11}{7}$ Ⓒ $\frac{3}{3}$ Ⓓ $\frac{5}{9}$ Ⓔ $\frac{9}{12}$ Ⓕ $\frac{13}{8}$ Ⓖ $2\frac{6}{7}$ Ⓗ $\frac{3}{25}$ Ⓘ $1\frac{9}{10}$ Ⓙ $\frac{21}{16}$

- 真分数() 仮分数() 帯分数()



131

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ②

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい 「帯分数」「仮分数」「真分数」の大きさについて理解を深める。

考 技 (知)

- ① $\frac{7}{5}$ について、□にあてはまる数を書きましょう。



- ① $\frac{7}{5}$ は $\frac{1}{5}$ を□こ集めた数です。 ② $\frac{7}{5}$ は1と $\frac{1}{5}$ を□こ集めた数です。
 ③ $\frac{7}{5}$ は1より□大きい数です。 ④ $\frac{7}{5}$ は1と□を合わせた数です。

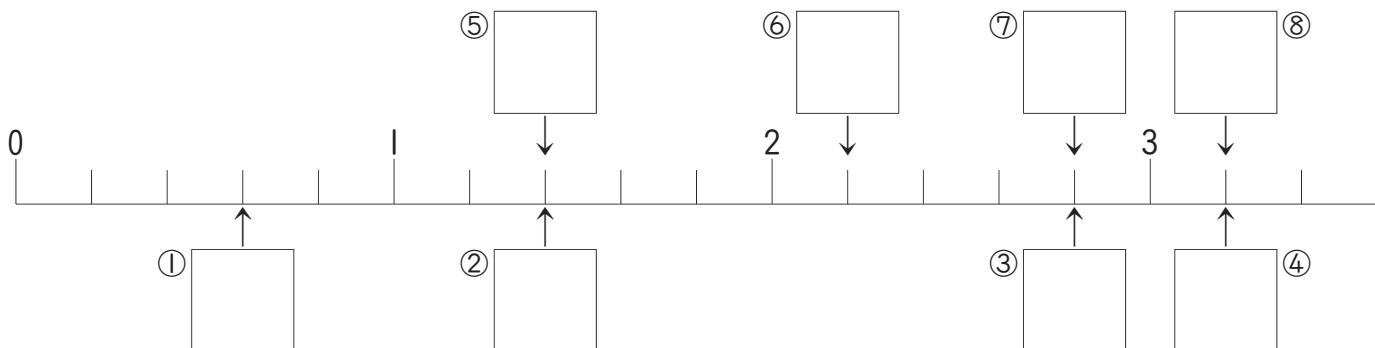
- ② 次の□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 3Lと $\frac{1}{4}L$ の和は□Lです。 ② 2mと□mの和は $2\frac{2}{3}m$ です。
 ③ □が6こ集まつた分数は $\frac{6}{7}$ です。 ④ □が5こ集まつた分数は $\frac{5}{5}$ です。
 ⑤ 2と $\frac{1}{8}$ の和は□です。 ⑥ 6と□の和は $6\frac{5}{6}$ です。

- ③ ()の中の数を、小さい順に不等号を使って書きましょう。

- ① ($3\frac{1}{7}$ $\frac{23}{7}$ $\frac{20}{7}$) □
 ② ($\frac{34}{6}$ $5\frac{5}{6}$ 6) □

- ④ ①から④には真分数か仮分数、⑤から⑧には帯分数を書きましょう。





132

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ③

ねらい

帯分数を仮分数に、仮分数を帯分数で表すことができ、
仮分数と帯分数の大きさの比較の仕方を理解する。

勉強した日 月 日

名前

組 番

考 技(知)

- ① 次の帯分数を仮分数になおしましょう。

$$\textcircled{1} \quad 1\frac{1}{3} = \boxed{}$$

$$\textcircled{2} \quad 2\frac{1}{4} = \boxed{}$$

$$\textcircled{3} \quad 1\frac{3}{10} = \boxed{}$$

$$\textcircled{4} \quad 3\frac{2}{7} = \boxed{}$$

$$\textcircled{5} \quad 3\frac{4}{5} = \boxed{}$$

$$\textcircled{6} \quad 8\frac{1}{2} = \boxed{}$$

$$\textcircled{7} \quad 2\frac{5}{6} = \boxed{}$$

$$\textcircled{8} \quad 4\frac{3}{10} = \boxed{}$$

$$\textcircled{9} \quad 4\frac{7}{8} = \boxed{}$$

- ② 次の仮分数を帯分数か整数で表しましょう。

$$\textcircled{1} \quad \frac{30}{6} = \boxed{}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{29}{7} = \boxed{}$$

$$\textcircled{3} \quad \frac{31}{5} = \boxed{}$$

$$\textcircled{4} \quad \frac{49}{8} = \boxed{}$$

$$\textcircled{5} \quad \frac{26}{3} = \boxed{}$$

$$\textcircled{6} \quad \frac{100}{10} = \boxed{}$$

- ③ 下の図の長さやかさを仮分数、帯分数で求めましょう。

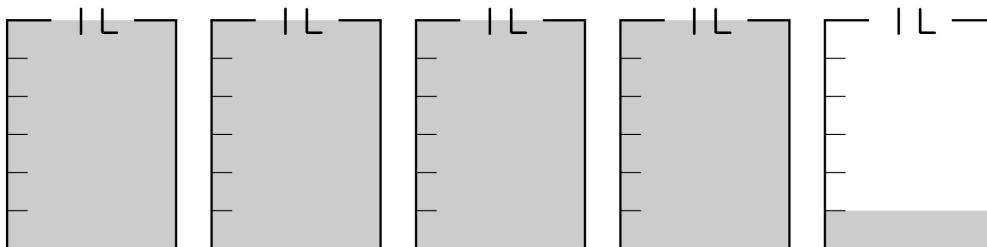
①



仮分数

帯分数

②



仮分数

帯分数



133

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ④

名前

勉強した日 月 日

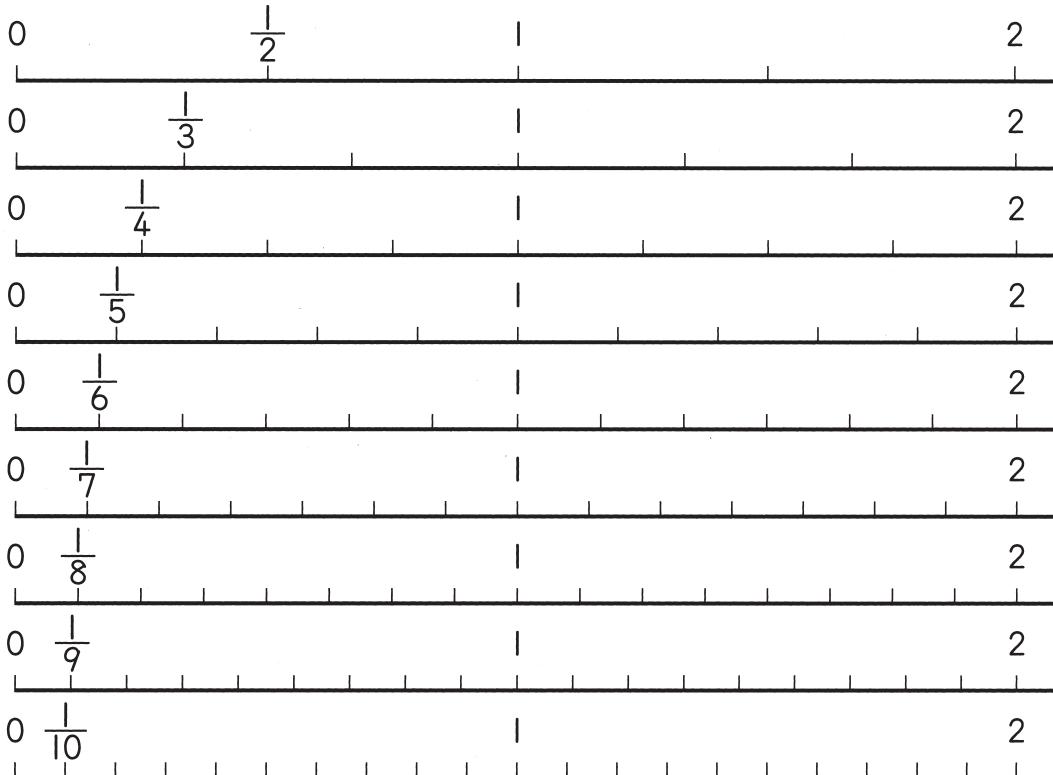
組 番

ねらい

大きな等しい分数があることを理解する。

考 技 (知)

- ① 下の数直線を見て、□にあてはまる数を書きましょう。



$$\textcircled{1} \quad \frac{1}{2} = \boxed{} = \boxed{} = \boxed{} = \boxed{}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{1}{3} = \boxed{} = \boxed{}$$

- ③ 上の数直線で0から2の間にある分子が2の分数を小さい方から順に書きましょう。

--

- ② 上の数直線を使って()の中の数を大きい順に並べ、不等号を使って書きましょう。

$$\textcircled{1} \quad (\frac{1}{8} \quad \frac{1}{3} \quad \frac{1}{6} \quad \frac{1}{4})$$

--

$$\textcircled{2} \quad (\frac{5}{10} \quad \frac{5}{2} \quad \frac{5}{7} \quad \frac{5}{5})$$

--



134

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑤

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

同分母の真分数、假分数の加法計算の仕方を考える。

(考) 技 知

- ① $\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{7}{6}$ は が こ分 $\frac{4}{6}$ は が こ分

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ は が (+) こ分になるから、

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6} =$ たいぶんすう 帯分数になおすと、

=

- ② $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{8}$ は が こ分 $\frac{11}{8}$ は が こ分

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ は が (+) こ分になるから、

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8} =$ 帯分数になおすと、

=



135

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑥

名前

組 番

ねらい 同分母の帶分数の加法計算の仕方を考える。

(考) 技 知

- ① $5\frac{1}{4} + \frac{3}{4}$ の計算のしかたを考えましょう。

〈整数と真分数に分けて考える〉

$$5\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \boxed{} \quad \boxed{}$$

=

- ① 整数どうしのたし算をする。

$$5 + 0 = 5$$

- ② 分数どうしのたし算をする。

$$\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{4}{4}$$

- ③ 帯分数または整数になおす。

②

$$4\frac{5}{8} + 3\frac{7}{8} = \boxed{} \quad \boxed{}$$

=

③

$$\frac{2}{9} + 2\frac{5}{9} + 3\frac{3}{9} = \boxed{} \quad \boxed{} + 3\frac{3}{9}$$

=

- ④ どのように計算したのかがわかるように、①～③のような矢印を書いて計算しましょう。

①

$$8\frac{4}{5} + 3\frac{2}{5} = \boxed{} \quad \boxed{}$$

=

②

$$9\frac{4}{7} + 1\frac{3}{7} = \boxed{} \quad \boxed{}$$

=



136

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑦

名前

勉強した日 月 日

組 番

ねらい

同分母の真分数、仮分数の減法計算の仕方を考える。

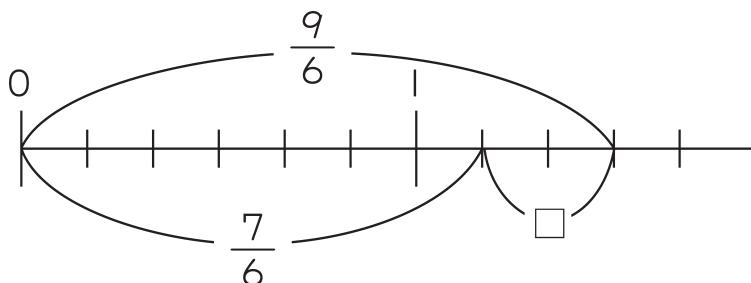
(考) 技 知

- ① $\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{6}$ は が こ分 $\frac{7}{6}$ は が こ分

$\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ は が (-) こ分になるから、

$$\frac{9}{6} - \frac{7}{6} = \boxed{}$$



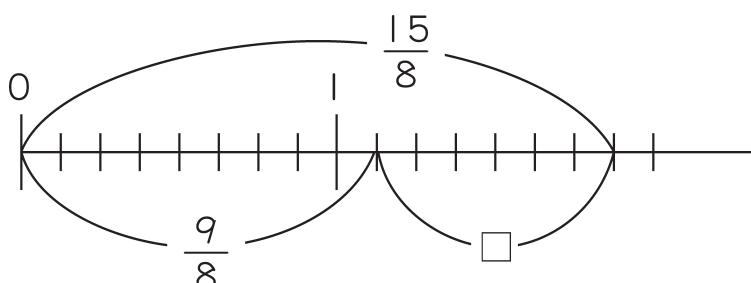
□にあてはまる数は

- ② $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{15}{8}$ は が こ分 $\frac{9}{8}$ は が こ分

$\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ は が (-) こ分になるから、

$$\frac{15}{8} - \frac{9}{8} = \boxed{}$$



□にあてはまる数は

137

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑧名
前

組 番

ねらい 同分母の帶分数の減法計算の仕方を考える。

(考) (技) 知

- ① $3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10}$ の計算のしかたを考えましょう。

<整数と仮分数に分けて考える>

$$3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10} = 2\frac{\square}{10} - 2\frac{4}{10} = \boxed{\square}$$

- ② $7 - 3\frac{4}{9}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$7 - 3\frac{4}{9} = 6\frac{1}{9} - 3\frac{4}{9} = \boxed{\square} - \boxed{\square}$$

- ③ 上のやり方で、計算しましょう。

① $4\frac{3}{8} - 2\frac{5}{8}$

② $3 - 1\frac{1}{13}$

③ $3\frac{7}{12} - 2\frac{10}{12}$

④ $10 - 4\frac{5}{6}$



138

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑨

名前

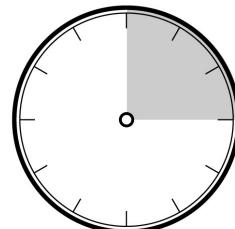
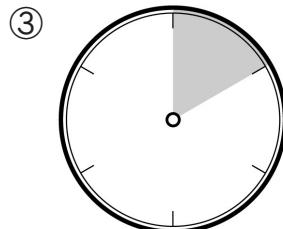
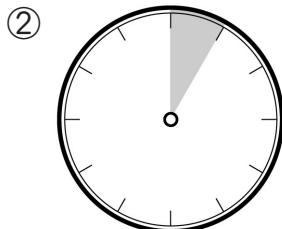
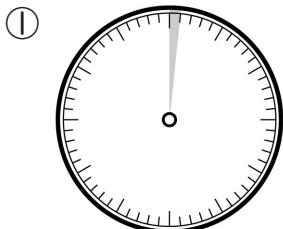
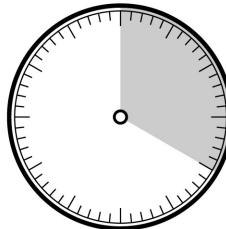
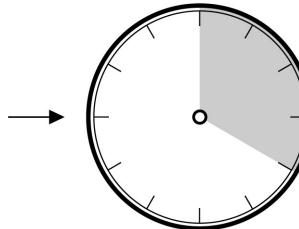
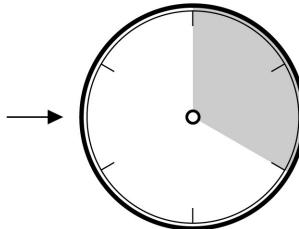
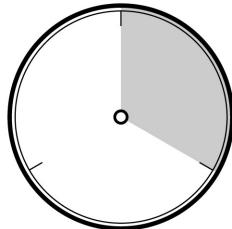
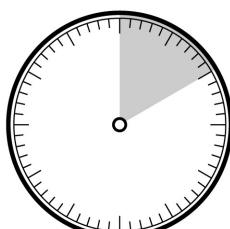
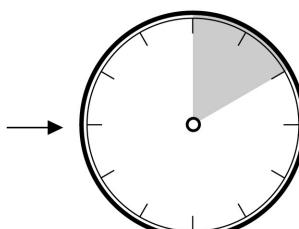
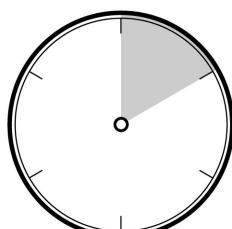
組 番

ねらい

時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数についての理解を深める。

考 技 (知)

① □にあてはまる数を書きましょう。

① 1分は1時間を見 等分したうちの1つだから 時間② 5分は1時間を見 等分したうちの1つだから 時間③ 10分は1時間を見 等分したうちの1つだから 時間④ 15分は1時間を見 等分したうちの1つだから 時間② 時間を分数に表す方法を使って、 $\frac{1}{3} + \frac{1}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。20分きぎみで
 $\frac{1}{3}$ 時間10分き
ぎみで 時間5分き
ぎみで 時間1分き
ぎみで 時間

$$\frac{1}{3} + \frac{1}{6} = \boxed{} + \boxed{}$$

$$= \boxed{} + \boxed{}$$

$$= \boxed{} + \boxed{}$$

10分きぎみで
 $\frac{1}{6}$ 時間5分き
ぎみで 時間1分き
ぎみで 時間